

平成 28 年度総合型地域スポーツクラブ概要調査集計

ホームページ掲載希望

- ・北ブロック 9 ・中央ブロック 7 ・南ブロック 10 計 26 クラブ
- NPO 法人クラブきくよう ○クラブこうし ○NPO 法人クラブおおづ ○やまが総合スポーツクラブ
- NPO 法人 A-life なんかん ○クラブ南阿蘇 ○NPO 法人火の山スポーツクラブ
- 菊池“ゆ”ったりスポーツクラブ ○高 SPO
- NPO 法人桜木ふれあいスポーツクラブ ○長嶺地域スポーツクラブ ○NPO 法人スポレク・エイト
- 城北スポーツクラブ ○NPO 法人 u&uN スポ植木 ○託麻西校区総合型スポーツクラブ
- 出水南どっとネット
- NPO 法人うとスポーツクラブ ○JKA トレジャークラブ ○あいあいスポーツクラブたらぎ
- NPO 法人不知火クラブ ○山都ふれあいスポーツクラブ ○UK I おがわクラブ ○アロマクラブ
- さかもと未来クラブ ○総合型地域スポーツクラブ DREAM 火流 ○嘉島町総合型地域クラブ
- 希望無 2 クラブ

◆PART I クラブの概要

1 平成 28 年 3 月末会員数 (max974 人 minimum0 人)

(嘉島町総合型地域クラブを除く 66 クラブ)

- ・総数 18069 人 平均 273.8 人 (昨年度より 957 人増)
- 北ブロック 5816 人 中央ブロック 6567 人 南ブロック 5686 人
- ・小学生 6827 人 平均 103.4 人 (全体の 37.8%)
- 北ブロック 2224 人 中央ブロック 2611 人 南ブロック 1992 人
- ・中学生 1091 人 平均人 16.5 人 (全体の 6.0%)
- 北ブロック 260 人 中央ブロック 506 人 南ブロック 325 人

2 指導者について(67 クラブ)

- 1 指導者総数 1514 人 (max144 人 minimum0 人)
有資格者数 418 人 無資格者数 887 人 不明 209 人
日体協資格保持者 97 人 その他の資格保持者 321 人
- 2 指導者研修会
行っている 19 クラブ (北 8, 中 3, 南 8)
頻度 年間 1 回 12 クラブ 年間 2 回以上 7 クラブ
行っていない 48 クラブ (北 9, 中 18, 南 21)
- 3 一般会員から指導者に移行した人
いる 23 クラブ (北 8, 中 9, 南 6)
いない 41 クラブ (北 8, 中 11, 南 22)
不明 3 クラブ
 - ・ジュニアバレー保護者が指導者に ジュニアサッカー保護者が指導者に
 - ・テニスやバドミントン、ベビーマッサージの参加者から指導者に
 - ・会員から指導者、クラブ職員に
 - ・旧ジュニア会員が高校卒業後指導者に 一般対象種目で一般会員から指導者に
 - ・その競技に精通していた参加者が指導者に
 - ・トランポリン教室の生徒や保護者が指導員に
 - ・トランポリン受講者の保護者が 1 名指導資格取得
 - ・会員でジュニアのプログラムの保護者が指導者に
 - ・ソフトボール会員、ソフトテニス会員がそれぞれジュニアの指導者に
 - ・一般会員がジュニアバドミントン、ジュニアバスケットボール、太極拳の指導者に
 - ・理事、会員が部活動の外部指導者に
 - ・会員の保護者が指導者に
 - ・一般会員の保護者が協力者として手伝い、指導者に
 - ・小学校からの会員が高校生になってジュニアの指導者に
 - ・一般会員が野球、サッカー、バスケットボールの指導者に

- ・一般会員と指導者のかけもち
- ・一般会員から大人を対象とした野外活動の指導者に
- ・太極拳教室会員から指導者に
- ・一般会員がノルディックウォーキングの指導者に
- ・一般会員が子どもの指導者としても活動

3 本年度1月に熊本県体育協会が新規事業として開催する、小学校運動部活動の社会体育移行に伴い指導者の養成を行う「地域スポーツ指導者研修会」への参加について

①参加を希望する

29クラブ 107人	(北 10クラブ 39人	中 3クラブ 17人	南 14クラブ 51人)
②未定 33クラブ	(北 6クラブ	中 14クラブ	南 13クラブ)
③参加を希望しない 5クラブ	(北 1クラブ	中 2クラブ	南 2クラブ)
④不明 2クラブ		中 2クラブ	

4 クラブマネジャー、アシスタントマネジャーの資格保有者

いる 54クラブ	クラマネ・・・いる (16クラブ 16人)	いない (51クラブ)
	アシマネ・・・いる (45クラブ 100人)	いない (22クラブ)
どちらもいない 14クラブ(内4クラブは28年度アシマネ養成講習会受講済)		

5 会費

1 年会費平均(年会費制でない2クラブを除く 65クラブ)

○子ども (県平均) 4265円

北ブロック	3541円 (max 8000円 minimum1000円)
中央ブロック	4281円 (max 6000円 minimum3000円)
南ブロック	4707円 (max 12000円 minimum1000円)

○大人 (県平均) 6541円

北ブロック	5691円 (max 10000円 minimum2400円)
中央ブロック	6471円 (max 10000円 minimum4000円)
南ブロック	7130円 (max 14400円 minimum1000円)

○高齢者 (県平均) 5582円

北ブロック	4956円 (max 8000円 minimum2400円)
中央ブロック	5290円 (max 9000円 minimum3000円)
南ブロック	6204円 (max 12000円 minimum1000円)

※元気・夢クラブ、つなぎ運動します隊を除く

2 ビジター参加費制度

あり 28クラブ(北 2 中 18 南 8) 1回あたり 200~300円が多い) (max1000円 minimum100円)
なし 39クラブ(北 15 中 3 南 21)

※合計額が年会費額を超えたら会員として登録するが数クラブあり

3 その他の会費設定

- ・賛助会員(個人、企業) 1口 500円
- ・各種目の年間参加費が必要
- ・年会費ではなく、月謝制教室あり
- ・月会員制度あり (月額) 大人 600円 子ども 300円
- ・月謝制の教室 1500円/月 2000円/月(1教室) ※年会費も徴収
- ・特別教室参加費 1000円(2教室) 100円(1教室) 200円(1教室)
- ・途中入会 割引あり
- ・6か月会員 3000円(年会費の半額)
- ・村外 3000円(村内一律 2000円)
- ・設定は子ども…中学生以下、大人…高校生以上
- ・更新会員は子ども 6000円が 5000円に、大人 12000円が 10000円に
- ・家族 2人目から半額…2クラブ
- ・ファミリー会員 1名を除き半額

- ・家族会員 3名まで8000円
- ・ファミリー会員 2人以上10000円 プラス1人につき1000円
- ・ファミリー会員 8000円、10000円、12000円
- ・ファミリー会員(同居家族3人まで)14000円
- ・ファミリー会員(人数不特定)14000円
- ・ファミリー会員(同居家族3名まで)10000円 追加の場合は別途会費を徴収
- ・家族会員(同居家族3人まで)5000円 1名増につき1000円
- ・ファミリー会員(3人まで)13000円 4人目から1人につき4000円
- ・ファミリー会員(3人まで)15000円
- ・ファミリー会員(同一世帯3人で)18000円
- ・ファミリー会員(同居家族5人まで)10000円 以下1名増につき2000円
- ・ファミリー会員 3人目からは1500円
- ・家族割 2人目からは2000円引
- ・ペア会員 2名以上 1人3000円
- ・夫婦割(1人につき2000円割引)
- ・親子割(親会費より2000円割引)
- ・入会金 500円(入会時、初回のみ) 3クラブ
- ・中途加入…年額÷10×残月数
- ・8月以降は1000円引き 但し子どもは割引なし
- ・ワンコイン会員 1回500円(年会費)相当額まで達したら正会員)
- ・無料体験 1種目1回
- ・教室参加費 年会費+1000円
- ・アカデミー 年会費は中学生以下3000円 一般4000円 65歳以上3500円(別途月活動費要)
- ・J会員(部活移行) 年会費3000円(別途月活動費要)
- ・スクール参加費(小学3年生以下700円/月 中学生以下1500円/月)
- ・シーズン制で各プログラム単位の参加費徴収
(1シーズンの単価)
幼児、小学生体育教室3000円、エアロビクス6000円、少年野球3000円、
バスケットボール(6号)2000円、ミニバスケットボール1000円
- ・シーズン制…熊本市中学生サッカースクール(9月～12月の水曜日 計12回)
- ・ナイター陸上教室 5回500円
- ・ビジター料…1回目無料 2回目200円 3回目以降は会員登録を勧める
- ・ビジター料 400円(バドミントンのみ)
- ・各種目1回の体験は無料 ビジター設定は特になし
- ・短期講座、体験教室、シーズン制教室など、その都度参加費の設定あり(会員外割増)
- ・ジュニアサッカーは年会費と別に月別会費として1000円徴収
- ・小学生対象の夏季水泳教室: 会員1000円 会員外2000円
- ・水泳種目は年会費の半額
- ・水泳教室参加費 会員1000円 非会員3000円
- ・グラウンドシニア 4000円(高齢者は5000円)
- ・グラウンドゴルフ会員 1000円/年
- ・特別教室会費(ソフトボール、高学年サッカー) 1000円
- ・通常クラスは1回無料体験をできるが、その他の体験教室は1人1回500円
- ・キッズ(幼児)2000円 中学生以下の子どもは3000円)
- ・5歳以下は無料
- ・障がい者は半額
- ・ハートフル会員(障害者手帳取得者) 一般10000円が8000円
- ・各種団体、企業 30000円
- ・企業・団体 20000円(10人以下)～
- ・スポーツ安全保険代を徴収
- ・保険料… 学生・大人600円 高齢者500円 中学生までの子ども400円

6 事業について

1 年間を通したプログラム種目数平均 13.5 (max53 種目 minimum0 種目)

小学生対象の体育系プログラム(数字はクラブ数)

・サッカー関係 51 ・バドミントン 42 ・バレーボール関係 38 ・ミニバスケット関係 32
・テニス関係 26 ・野球関係 24 ・卓球 19 ・陸上 15 ・剣道 15 ・体操関係 14
・ダンス関係 9 ・空手 9 ・柔道 7 ・ソフトボール 6 ・スポーツ教室 6 トランポリン 6
・ハンドボール 5 ・タグラグビー 4 ・ゴルフ 4 ・ボクシング関係 4 ・ボウリング 4
・ウォーキング 3 ・水泳 2 ・テコンドー 2 ・バトン 2 ・日本拳法 2 ・相撲 2 ・その他 23
文化系プログラム 24 クラブで実施 (max10 教室 minimum0)

2 シーズン制種目名

・水泳 12 ・野球 3 ・サッカー 3 ・バレーボール 3 ・エアロビクス 2 ・陸上 2 ・体育教室 2
・バスケットボール 2 ・ニュースポーツ 2 ・ちびっこ運動教室 ・アジャタ ・ミニバレー
・トランポリン ・ノルディックウォーキング ・バドミントン ・ドッジボール ・バドミントン
・水中運動 ・わんぱく教室 ・スケート ・テニス ・バウンドテニス ・ラケットテニス
・タグラグビー ・カヌー ・ヨガ ・中学生サッカー ・苦手克服教室
・クラフト ・切り絵

3 イベント開催 ※熊本地震による中止事業あり

○クラブ単独

・感謝祭(15 万円) ・クラブ交流会(15 万円) / 体力測定会(2 万円) / バドミントン大会(120 万円)
・スリッパ卓球大会/水泳教室/陸上教室/しめ縄飾り作り ・フットパス in 山鹿(1 万円)
/九州オルレ in 久留米 (1.5 万円) / 感謝祭 (14.7 万円) / ぎおん祭クラブバー(7 万円)
/A-life 杯ゴルフカップ(8 万円) ・夜峰山開き (3 万円)/会員交流会(前期・後期=10 万円)
・HSC ゴルフカップ(100 万円) ・感謝祭(年間 2 回、16 万円)/体験教室(春・夏休み講座、前期体験教室・
後期体験教室) サッカー大会 ・泥りんピック(100 万円)/ウォーキング大会(2,500 万円)
/農業体験教室(34 万円)/ジュニアサッカー大会(21 万円)/牛深交流事業(19 万円)/その他 12 万円
・バドミントン大会 ・ふれあいフェスタ(5 万円)/スポーツフェスタ in 龍田(5 万円×2 回=10 万円)
・グラウンドゴルフ大会(年 2 回、5 万円)/剣道大会 (5 万円) / 卓球大会(2 万円)
・ミニマラソン大会(10 万円) ・東部スポーツクラブふれあいフェスティバル(20 万円)
・10 周年スポレクフェスタ (50 万円) ・健康フェスタ(10 万円) ・アジャタ大会(10 万円)/ジュニアバレー
交流大会(2 万円) ・ビーチボールバレー大会(8 万円)/パークゴルフ大会(3 万円)/金峰山登山(2 万円)
・卓球交流会、グラウンドゴルフ大会、ミニバレーボール大会、バドミントン大会、ソフトバレーボール大
会(約 30 万円) ・夏祭り(10 万円) ・小学生フットサル大会/中学生フットサル大会
・市民交流イベント(わくわくスポーツ)/うとスポーツ杯小中学校卓球大会
/スポーツフェスタ(無料体験) ・夏祭り(50 万円)/どんどや(4.5 万円)
・夏休みちびっこスポーツ塾(3 万円)/エアロビクス教室(1.5 万円)
/ミニバレーボール大会(年間 6 回、20 万円)/ビーチボールバレー大会(1.2 万円)
・さくら健康フェスタ(100 万円) ・ビーチボールバレー大会(7 万円)/レクレーション大会(3 万円)
/グラウンドゴルフ大会(3 万円) ・ちびっこ相撲大会(28 万円)
・会員交流イベント(アジャタ大会、ボウリング大会)・6 時間耐久リレーマラソン(約 3 万円)
/球磨村ビーチボールバレー大会(約 1 万円) グラウンドゴルフ大会(約 2 万円) ・夏祭り
・夏休み 1 日体験教室(約 2 万円) ・炭焼き体験(2 万円)/陸上教室(4 万円) ・サマーサッカー大会
/サマーグラウンドゴルフ大会(地区対抗)/ウォークラリー大会 ・時空探偵~まち歩き×文化財
×謎解き~(5 万円)/サマーチャレンジスクール 2016(100 万円)/復興支援事業(日本財団より 200 万円)
・ホテル観賞会(0 円)/会員交流会(体力測定、バドミントン、卓球、ビーチ体験教室:0 円)
/バドミントン体験教室(0 円)/野外活動:(0 円)/卓球体験教室(0 円) ・ペタンク大会(3 万円)
/ウォークラリー大会(3 万円) ・ソフトバレー大会(年 1 回 10 万円)/合同練習(年 1 回 3 万円)
/ジュニアサッカー練習試合(年 2 回 3 万円)/ふれあいスポーツ大会(年 1 回 3 万円)
・新年サッカーフェスティバル(5 万円)/保護者親睦会(年 2 回 10 万円)

○共催

・ソフトボール大会/ジュニアサッカー大会 ・ふれあい DAY(クラブ、しずく・10 万円)
・町スポーツフェスタ/町チャレンジキャンプ/つつじ祭り/観光協会との共催イベント
/ジョギングフェスティバル ・クラブハンドボール大会(市ハンドボール協会と共催・10 万円)

/クロスカントリー大会(市陸上協会と共催・25万円)
 ・エイドステーション(九州看護福祉大学アイリスと共催・19万円)
 /町チャリティゴルフ大会(町社会福祉協議会と共催・14.5万円)
 ・クラブスポーツフェスタ(保険料、弁当代等でクラブより2,7970円支出・16,6500円)
 ・歴史探訪健康ウォーキング(1.6万円) ・どろんこ妖〜怪(7.3737万円)
 ・歴史めぐりウォーキング(郷土史クラブ:2万円) ・県北協会、クラブ杯バウンドテニス大会(協会と共催・0円)
 /クラブ杯、職場対抗球技大会(教委と共催・0円)
 ・町民体育祭(2年に1回)/ウォーキング大会 ・ゴルフ大会(3校区体協・:35万円)
 ・夏祭り(校区自治会:と共催・10万円) ・体育祭/バドミントン大会/卓球大会
 /パルバレー大会/ミニバレー大会/ナイターソフトボール大会/ボウリング大会
 /グラウンドゴルフ大会 ・8校区ミニバレー大会(城西中学校区、三和中学校区8団体より・15万円)
 ・校区体育祭/夏祭り ・校区夏祭り(校区体育協会と共催 協力のみ) ・健康まつり(公民館事業)
 ・校区体育祭(託麻西校区体協 運営支援・10万円)/ニュースポーツ体験会(町内子ども会 指導者派遣、用具貸出)/ウォークラリーでのニュースポーツ体験(健康づくり協議会 用具貸出)
 /PTAバザーでのニュースポーツ体験(小学校PTA 指導者派遣、用具貸出) ・ウォークラリー大会、綱引き大会、グラウンドゴルフ大会(2万円)(校区体協と共催) ・町民運動会(校区体協と共催・30万円)/グラウンドゴルフ交流会(校区体協と共催・2万円) ・地藏まつり総踊り参加
 /24時間テレビチャリティスポーツ大会/宇土マリーナジュニアサッカー大会
 ・市ソフトバレーボール大会(市ソフトバレーボール協会・5.3万円)
 ・レクリエーション大会(3万円) ・新体力テスト(教育委員会とスポーツ推進委員会・9千円)
 ・チャレンジデーに協力 ・秋季球技大会バレーボール競技(町教委と共催・0円)
 ・ふれあい祭り(まちづくり協議会・10,218円) ・幼児体育支援事業(郡体協と共催
 ・18万円)/復興支援夏祭り(Fun&Fit と共催・30万円) ・山江村民体育祭 ・校区民体育祭
 ・スプリングフェスタ(校区住民自治会・6万円)/校区ふれあい祭り(行政、校区住民自治会・3万円)
 ○委託
 ・町健康推進事業(620万円)/町トレーニングジム運営委託(970万円)
 /夏休みプール開放事業運営委託(120万円) ・町介護予防、健康増進事業関連
 (町福祉課・2288万円)/地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト
 (文科省・461万円)/土曜活動(町教育課・8.6万円) ・大阿蘇元気ウォーク(市・68万円)
 /チャリティゴルフ(市・100万円)/高齢者運動指導(市社会福祉協議会・48万円/)
 ・保育所運動教室(町・98万円) ・放課後子どもスポーツクラブ(市・25万円)
 ・運動施設管理委託(市・100万円) ・区サッカー大会(区役所から65万円)
 /区グラウンドゴルフ大会(区役所から25万円) ・天草パールラインマラソン大会(大会組織委員会
 ・委託料不明) ・海賊祭(海賊祭実行委員会・3万円) ・子育て支援センター親子体操(2万円)
 ・市新春ミニサッカー大会(市サッカー協会・5万円)/夏休みプール監視(小学校PTA・4万円)

7 クラブの課題 (複数回答可)

- ①会員の増 (72%) 48クラブ (北12, 中13, 南23)
- ②財源の確保 (57%) 38クラブ (北11, 中9, 南18)
- ③指導者の確保 (63%) 42クラブ (北13, 中10, 南19)
- ④次世代スタッフの育成 (58%) 39クラブ (北9, 中15, 南15)
- ⑤クラブの周知、啓発 (33%) 22クラブ (北6, 中6, 南10)
- ⑥他団体との連携 (22%) 15クラブ (北5, 中3, 南7)
- ⑦事業の拡大 (21%) 14クラブ (北2, 中6, 南6)
- ⑧その他 (9%) 6クラブ (北3, 中0, 南3)

※課題解決に向けての手立て、方向性等

①会員の増加 (72%) 48クラブ (北12, 中13, 南23)

- ・まずは、スポーツ振興くじが今年度で終了のため、財源・運営について協議している。クラブの在り方の根本から見直しをかけて毎週、毎月会議中である。
- ・玉名市全域を対象にした総合型地域スポーツクラブ設立に向けて活動中。
- ・年々、会員は増加傾向にあるが、地元の方の会員数が少ない。また、若い世代(高校生〜20代)も少なく、この2点の問題を解決したいが、未だ手立て、方向性は模索中。

- ・阿蘇市内でのパンフレット等チラシの配布やロコミ。
- ・特別教室（会員）制度を設け、PR、指導者養成、会員増等を目指し、試行的に新種目の教室を開催している。
- ・子ども会員の増加を目標に今まで行ってきたが、大人向けの教室の拡大を課題としている。
- ・種目を増やしたり、指導者育成をしなければいけないと考えている。
- ・ニーズの把握、プログラムの新設、昼間プログラムの開設。
- ・一般会員の高齢化に伴う会員数減が顕著であり、新規会員の増につながる施策が必要。小中学生は殆ど横ばいである。
- ・20代、30代、40代の会員を増やすためのプログラムを検討している。
- ・地域の小学校への紹介プリントの配布。
- ・小学生のジュニア会員は毎年ある程度の人数を確保できるが、一般会員、シルバー会員が長続きしない。種目の変更や日頃の活動の仕方を工夫したい。夜の体育館だけでなく、昼間の公民館等の利用を考えたい。
- ・PR活動として年2回の広報誌を発行し、全世帯へ配布している。各イベントは非会員へも参加を募って、クラブの活動を理解してもらうよう働きかけている。
- ・震災による拠点体育館の休館で、活動ができません。近隣クラブの協力で、少しでも活動ができればと思います。
- ・毎年3月を無料体験月間とし、初めての方や会員の友達に実際に活動してもらいながら、会員勧誘を行っています。
- ・広報。
- ・新規プログラムの模索、既存プログラムの充実。
- ・広報などを活用し、クラブの周知をする。イベントを多数開催し、クラブへの興味関心を高める。
- ・当クラブは、年会費などを収入源として自主財源率100%で運営しております。会員増加が見込めなければクラブ存続に関わってきます。
- ・新規教室を開催するなどして、教室対象者の拡大。
- ・当クラブの会員は主にジュニア・シルバー会員であり、18歳以上60歳未満の一般会員が少ない。その層をどう取り込んでいけるかが課題であり、興味を持たせるクラブ（教室）の内容、参加しやすい環境作りを行っていかねばならない。
- ・魅力ある種目づくり。指導者の情熱。ロコミでの広がり。
- ・総合型クラブのPR。
- ・引き続き、事業所へのアプローチ。
- ・社会体育移行に伴う学校部活動の受入体制の強化。
- ・会費設定の見直し。
- ・幅広い年代の方に参加してもらうために健康増進の一環として新しい教室を開催する。
- ・広報の拡大。
- ・告知活動を行政とタイアップして行う。
- ・現在会員数は151名で昨年より教室は減少したが、ペース的には問題なし。ただクラブマネージャー雇用に関しては難しい人数である。会員増+会員支出増ができる教室展開を行う。
- ・SNS、ホームページ、広報誌等を活用し、クラブの周知を図る。
- ・熊本地震の影響により活動の中心となる施設が避難所となっているため、平成28年度の募集もまだの状態である。グラウンドなどでは6月より活動を再開している。
- ・村教育委員会に協力いただき、広報を行っている。
- ・合同教室を開催し、会員に向けて周知を行う際にお友達も連れてきてくださいと声かけを依頼し、その後会員になって頂いた方が増え、4名増加となった。
- ・発足初年度ということもあって、会員募集が効果的な方法であったか検証することが必要であると思われる。
- ・会員の半数以上が小学生で偏りがあり過ぎるので、小学生の保護者などクラブの理念・活動内容をよく理解した人を、少しずつ会員や指導者スタッフとして増やして行くことを考えている。

②財源の確保（57%） 38クラブ（北11、中9、南18）

- ・委託事業受注。
- ・今年度は熊本地震により、会員登録が止まっています。昨年の会員確保までは厳しいとの見解でおります。少しずつ活動再開しつつありますが、まだ施設が使えない教室もあり、パンフレット通りの活動には回復しておりません。
- ・企画、広報、指導者確保等、行政と連携することでスムーズな運営が可能になることは明らかで、公的な財政支援も継続して行くべきである。また、クラブ会員全員で取組んだ事業を考え、財源確保ができるようにしたい。
- ・阿蘇市やその他協力団体との業務提携。

- ・指定管理の共同事業。
- ・会費の徴収を年会費だけでなく、月会費を取れる教室の開催を考えている。
- ・NPO 法人格取得に向けて活動している。
- ・会員の確保、事業の受託。
- ・クラブの永続的な発展のためには、クラブスタッフの有償化が避けられない。この目的のために会費の値上げが必要である。年間会費を6,000円から8,000円に来年度から実施したい。
- ・助成金を申請している。28年度からグラウンドゴルフ大会での協賛企業を募集した。
- ・会費のみの収入であるので、他の事業収入を考えたい。
- ・地域コミセンの運営を総合型に委託してもらえると会員の活動の場が広がり、ひいては地域の利用者の方々にも多くの活動の機会を提供できるようになると思います。
- ・自主事業確立、イベント開催による収益確保。
- ・単発の教室（非会員を対象とした有料のイベントなど）を開催する。
- ・町事業などの教室一部委託。
- ・会場使用料の減免願いを市に提出。サポーターを募集して、寄付を募る。
- ・指定管理を受けているが、クラブ運営の事業的なものが必要。
- ・各種補助、支援事業の調査及び申請。
- ・助成事業の終了に伴い、町体育協会への参加で助成金を確保。
- ・スポンサーを探す。
- ・会費での教室自走の収入の確保はできているので、「会費収入<事業収入」の構図が生まれてくるように、事業展開を進めていく。
- ・財源の確保は、クラブの活動を幅広く周知することで、少しずつ確保できると思う。
- ・企業スポンサー募集。
- ・せっかく新規に加入されても、今までの会員が認知症等病気で入院となり、なかなか増えない。
- ・平成28年度より年会費を下げて、スクール活動費を月額で徴収することに変更したので、その効果を見ながら次の段階へと検討してみたい。
- ・クラブ運営費(当初予算)は入会者の年会費及び町の助成金であるが、入会者が少数であるため、思うような予算配分が見込めない状況である。

③指導者の確保 (63%) 42クラブ (北13, 中10, 南19)

- ・住民、学校、他団体との連携。
- ・現在の指導者の中には、今年度限りと宣言しておられる指導者が数名おられます。ここ数年前から代りの指導者を探しているが、謝金との兼ね合いもあり見つかるのか？継続できるか？わからない状態です。
- ・現在は各プログラムの企画、運営、経理等を其々の指導者が行っており、負担が大きい。指導者バンクを有効活用して、クラブで企画するプログラムの指導者を確保したい。
- ・近隣市町在住の高校運動クラブ卒業生等への指導協力依頼の実施。
- ・部活動の社会体育移行に向けての準備で、体協などと協力して指導者を確保していきたい。
- ・管外の指導者に頼るしかない状況です。
- ・今後は体育協会と連携して指導者の確保、育成に力を入れたいと考えている。
- ・指導者謝礼金の確保。
- ・タグラグビー、バドミントンの指導者が不足している。
- ・高校生の指導者は試験や大会などで来れない日がある。
- ・若い世代で、続けてスタッフとして協力する人が少ない。やる気のあるスタッフの養成が必要。指導者も含めて、地域から発掘できるように募集の工夫をしたい。
- ・当クラブでは会員同士が楽しみながら活動していくレクリエーションの場としているので、指導者とは呼んでいません。
- ・種目協会との連携強化。指導者登録制度の導入。
- ・小学校運動部活動の社会体育移行に合わせプログラムや教室を行いたいと考えているため、各種目で夕方から動ける指導者を探している。
- ・講習会などを開催し、指導者育成に努める。
- ・小学校運動部活動の社会体育移行問題を受け、当クラブからも2名委員として委嘱されております。児童を事故なく指導していくためには、指導者の確保と法令順守研修などの実技講習も必要になると思います。
- ・町事業との連携による担い手の確保。
- ・財源を増やし、指導者に謝金を少しでも渡せるようにする。

- ・クラブ間連携や他団体連携によって、指導者のシェアができるように呼び掛けていく。
- ・若い指導者が見つからないというのが現状。
- ・資格取得援助を行い、指導者を育成。
- ・保護者が指導者として活動している部については、子どもの進学と同時に指導者を止められる方がいるため、なるべく保護者とは別の地域の指導者をたてるように心がけている。
- ・現在は今の講師の皆さんで十分満たしているが、以前太極拳の先生が突如亡くなられたこともあり、次の講師やコーチの育成にも目を向けていきたい。
- ・小学校運動部活動の社会体育への移行に向けての校区委員会に受け皿クラブとして参加するので、その際いま一度校区内の人材を見直す。
- ・今後、小学校運動部活動の社会体育移行による総合型クラブへの受入による指導者の確保や、クラブ独自のプログラム（種目）実施に伴う指導者の確保や育成が急務と思われる。
- ・指導者については、既存の単独クラブチームの指導者に頼っており、今後は随時、公認指導者の確保や育成に努めたい。

④次世代スタッフの育成（58%） 39クラブ（北9，中15，南15）

- ・宣伝、募集。
- ・スポーツ振興くじ助成金によりクラブのパンフレットで広報啓発に努めていますが、その経費確保も今後は厳しくなります。ホームページや Facebook などでも広く周知し、震災関連が落ち着いたら、合志市の広報にも記事掲載をお願いしていきたいと考えます。
- ・スタッフの育成、指導者の確保については、クラブへの関わりをボランティアから雇用に繋げていき、継続した活動ができるように考えている。
- ・事業費の確保と長期的見通しを考慮し、新規スタッフの募集、雇用に繋げたい。
- ・本業の傍ら、時間を作って活動するのは難しく、クラブの運営を支えている主な会員は退職後の方や自営業で時間の融通がきき易い方たちである。休日や夜間を利用した若い世代の参加しやすい活動環境を提供することが必要。
- ・利用会員からスタッフへの意識を付けるためにイベントなど有効活用したい。また、種目スタッフから事務局スタッフ、役員へと引き上げていきたい。
- ・20代～30代の会員の確保。
- ・クラブの健全な運営のためには、スタッフの育成が必要である。後継者の発掘・指導にあたりたい。
- ・PTA 活動や地域の活動に協力的な人に声掛けをしている。
- ・クラブ卒業生の動向を把握し声掛けを行っている。
- ・パートで勤務していただいているが、少し財源不足で収入源を増やさないと正社員に届かないので、続かない。
- ・来年は創部10年を迎えますので、次世代のスタッフ育成に力をいれたい。
- ・ジュニア会員として活動していた人が、成長して活動のお手伝いをしてきている。
- ・若い正会員の獲得。
- ・町事業との連携による担い手の確保。
- ・運営面も含めたスタッフが必要。
- ・会員の中から探す。
- ・クラブの運営ができるスタッフを確保する為に、「財源確保」と共に大学生ボランティア団体と連携しながら人材育成と確保できるような仕組み作りを行う。
- ・小学校の運動部活動が社会体育へ移行することに伴い、専門的に事務を執り行う人員の確保を教育委員会へ要望している。
- ・中学校と連携し中学生との関わりをもっと深め、校区内イベントなどでクラブスタッフと共に中学生と運営に関して学んでいく機会を作る。
- ・今後、小学校運動部活動の社会体育移行による総合型クラブへの受入による指導者の確保や、クラブ独自のプログラム（種目）実施に伴う指導者の確保や育成が急務と思われる。
- ・今後、全てのスタッフも積極的に研修を重ね、組織の充実を図りたい。

⑤クラブの周知、啓発（33%） 22クラブ（北6，中6，南10）

- ・いろいろなジャンル・団体との連携は今後不可欠になってくると思います。クラブに在籍するメリットにもなり、総合型の良さを発揮できる場所ではないかと考えます。
- ・チラシ、ポスターを作成し、各施設等へ配布。
- ・SNS を利用して。

- ・参加意欲を持てるようなメニューの実施を検討し、広報等で周知する。
- ・広報紙を年4回発行。(8校区自治会) ホームページ。
- ・会員からの口コミ、横の繋がりでの勧誘。インターネットで活動状況の発信を行う。
- ・町内の各会合や行事に役員を派遣したり、体育協会のイベントに共催したり、町内の回覧板に毎月のプログラムを掲載したり、安心メールを流したりして、周知・啓発しています。
- ・今年度、ポスターを一新し社会体育施設を中心に掲示しております。
- ・シーズンごとのイベントの実施、報道等への定期的な活動状況の掲載。
- ・ポロシャツ作成、アユスポだより、広報などで活動の周知をしている。ホームページに各種目の日程を掲載している。
- ・行政の広報誌に掲載してもらう。
- ・体験教室を全住民対象で行う。
- ・マーケティングの強化のため鮮度が大事な SNS は充実してきたので、情報のツールとしてブログを始める準備中。タイムリーな情報を SNS で発信し、クラブ情報関連でブログを使い、検索者にしっかり情報が届くように持っていく。
- ・クラブの運営・諸活動がなされていないため、周知等ができていない。運営委員会の活用・充実を図り、周知・啓発に向けた取組(スポーツイベントなど)を行っていききたい。

⑥他団体との連携 (22%) 15クラブ (北5, 中3, 南7)

- ・事務局と運営(指導者)との見解に温度差が感じられます。運営に関しては2~3年前から会議の議題にかけてきたが、埋まらない考え方に難しさと限界を感じているのが本音です。
- ・村の体育協会やスポーツ推進委員等との連携を図りたいが、なかなか難しい。文化協会とは、村文化祭などに参加することで、クラブ会員の発表の場になっている。他町村との団体(クラブ)とも連携が取れていないのが課題…。
- ・各団体等へ目的を共有する事業等の共同開催の呼びかけ実施。
- ・団体との連携を取りたいけど、具体策はまだである。
- ・震災後に【笑顔プロジェクト】をコラボ企画で行った。
- ・体協、健康づくり協議会、校区PTA、こども会、自治協議会、近隣の企業。
- ・指導者講習会を共同で実施し、共通認識を持つようにしております。
- ・体育協会・福祉協議会等、同じ趣旨のイベントを共催する。
- ・熊本地震を通して様々な団体との連携が増えた中で、どこの団体とどのようなかわりを持ちながら関わるかと、つながった団体と他の総合型とのマッチングを行い、相乗効果を生む必要がある。
- ・宇城市体育協会との連携。

⑦事業の拡大 (21%) 14クラブ (北2, 中6, 南6)

- ・平成28年10月より、町総合スポーツセンターの指定管理事業者共同事業体として参入予定
- ・ロコトレ開催場所を増やす。子どもの活動と並行して保護者(お母さんたち)の活動を計画する。
- ・活動場所の確保がこれ以上望めない限り、拡大は不可能です。
- ・外部からいろいろな経験者を呼びながら、新種目を出せないか模索しています。前回も国際大会に出場するようなチアダンスチームを呼び、実際町民の前で踊ってもらうなどしています。
- ・社会体育施設の指定管理の充実。会員数増より内容の充実に取り組む。小学校運動部活動の社会体育移行を確実に実行。
- ・市体育協会加盟団体との共同大会の開催。
- ・ニーズの掘り起こしを行う。
- ・財源確保の部分でもあるが、現在「会費収入>事業収入」の部分で「会費収入<事業収入」になるような事業展開が必要であり、月謝制の教室を今年度1教室開設した。また、イベント関係やシーズン制教室の展開を行い、事業拡大する。
- ・体育館施設の管理受託。

⑧その他 (9%) 6クラブ (北3, 中0, 南3)

- ・事務局体制の改善が必要。勤務体制、仕事内容、賃金、手当、そして事務局としての立場。クラブ運営全てにおいて事務局が請け負っているが、理解してもらえていない。
- ・本来のスポーツ事業と委託事業のバランスを考え、法人のありかた(NPOでいいのか)を検討している。
- ・トランポリンができる施設が2つしかないが、1つが被災し前年度の25%くらいの活動しかできていない。
- ・全体的に事務局と種目クラブの連携が上手くできていない。事務局側の指導不足もある。

- ・リスクマネージメントの部分でクラブの法人化を進めていきたいのだが、役員の意識統一が出来ていない。行政主導により当て職でできたクラブのため、難しい部分がある。今後 NPO ではなく一般社団法人も視野に入れて、意識統一できているメンバーで法人化を進めていく必要があるが、今までの役員との兼ね合いを調整する必要がある。
- ・行政主導によるクラブ運営のあり方が、今後の大きな課題のひとつである。組織の改革を行うためには、やはりクラブの中心となりえる「人材」が必要。クラブの理念にある「1. 人材の発掘と活用（指導者・運営者の発掘、新しいアイデアと地域人材の活用）」について、改めて考えていきたい。

◆PARTII クラブと学校との連携

1 現在、学校と何らかの連携をしているか

1 している(38.8%) 26 (北 6、中 11、南 9) していない(61.2%) 41 (北 11、中 10、南 20)

◆北ブロック (6 クラブ)

- 小学校運動部活動の社会体育化に向け、学校及び関係団体と最近 3 回程会議を行った。
- クラブの指導者が小中学校の部活動の指導を行っている。
 - ・委託事業を進める上で、小中学校と密接に連携している。
 - スポーツ庁事業では学校体育のサポーター派遣、体力向上に向けた研究会の開催
 - 公益財団法人ノエビア財団事業では、子ども体組成測定、運動遊びの指導者派遣など
- 学校から依頼があればクラブの指導者（会員）を派遣、サポート（補佐）している。
 - （授業サポート…家庭科・英語活動 etc、放課後子ども教室、PTA 活動など）
- 小学校運動部活動の社会体育移行に伴う町検討会委員、及び、部活動指導教職員とクラブとの話し合いを行った。
 - ・小学校水泳授業にクラブ指導者を派遣した。
- 校長、教頭、PTA 会長などと話合いの場を持っている。
 - ・町民体育館での視察などの時に、クラブの用具貸出やクラブの説明などを行っている。今後はさらに連携を頻繁に行うつもりである。
- 外部指導者を小学校に派遣している。

◆中央ブロック (11 クラブ)

- 桜木、桜木東校区で放課後クラブ開催
 - ・夏休みには育成クラブに週 1 回サッカーコーチの支援
- 放課後スポーツクラブを 2 つの小学校で開催している。
 - ・管内の 3 小学校による子どもスポーツフェスタを、総合型スポーツクラブ主催で開催している。
 - （野球、サッカー、ミニバスケットボール…年 1 回）
- 龍田中学校サッカー部の外部指導者として、キッズサッカー指導者を派遣している。
- 部活動の時間帯に対応できないので、本クラブのプログラムに会員登録して活動中(小学校バドミントン)
- クラブの指導者を、小学校の部活動に外部指導者として派遣している。
 - ・学校へのクラブ広報誌等の配布。
- 野球部の部活動から総合型クラブへの移行に伴い、活動場所を提供してもらっている。
- 部活動の指導者が、クラブの指導者として協力してもらっている。(1 種目)
- 小中学校の校長先生に、本クラブの顧問になってもらっている。
 - ・剣道は部活動の指導者であり、クラブでも指導者としている。
- 小学校部活動(野球部)へ、総合型クラブよりお手伝いをしている。
- 町民体育祭に共催して、学校と共同運営の手伝いを行っている。
- 平成 27 年度と同様に、隈庄小の 3 年生対象の放課後子どもスポーツ教室を実施予定。

◆南ブロック (9 クラブ)

- すでに 5 つの運動部活動を本クラブに移行している。その存続のために、部員獲得につながるように小学校低学年の教室を開講している。
- 小中学校部活動の指導者とクラブの指導者が同じの種目が複数ある。
 - ・週 1 回、放課後体育教室(わんぱくクラブ)を行っている。
- 地元の 1 小学校で「わんぱく教室」開催
 - 一期 10 回、毎週水曜日の放課後(昨年は 3 期まで実施)
- クラブの指導者を中学校の部活動に外部指導者として派遣している。
- 小学校部活動(サッカー)に指導者を 1 名派遣している。
- クラブの指導者を小学校の部活動に外部指導者として派遣している。

- ・学校支援地域本部事業と連携し、ボランティア協力をしている。
- 小学校児童のほとんどがクラブの会員でもあり、小中学校を拠点に現在活動を行っている。
- 小中合同運動会の運営サポート
 - ・持久走大会の交通整理
 - ・夏休みプール監視
 - ・学校レクリエーション活動へのサポート
- クラブ運営委員会の委員に学校長代表を選任し、連携を図っている。

2 市町村の動向を把握している (62 クラブ 未回答 5 クラブ)

1 している (80.6%) 50 (北 15、中 10、南 25) 2 していない (19.4%) 12 (北 2、中 8、南 2)
把握している場合 (1~5 で複数回答有)

- 1 社会体育団体に説明がなされた 22 (北 8、中 2、南 12)
- 2 社会体育移行に向けての委員会が設置された 23 (北 8、中 0、南 15)
- 3 社会体育への移行が始まった 12 (北 2、中 1、南 9) 全面 1、部分 11
 全面移行…長洲町、
 部分移行…菊池市(菊池小校区)、高森町、熊本市(桜木校区、天明校区)、宇土市、益城町(広安小校区)、
 嘉島町(嘉島西小校区)、甲佐町、美里町(中央小・砥用小校区)、八代市(日奈久小校区)、
 相良村(相良南小校区)、苓北町(坂瀬川小学校区)、津奈木町
- 4 まだ、説明もなく具体的な動きはない 10 (北 1、中 6、南 3)
- 5 その他 10 (北 4、中 1、南 5)
 - ・委員会は設置されているが、具体的な内容は何も聞かない。
 - ・体育協会種目団体への説明(移行するということだけ)はあったものの、スポーツ少年団等への説明は進んでいない。
 - ・平成 28 年 4 月 1 日より、ミニバスケットとサッカーを当クラブ事業として実施することになった。
 - ・検討委員会設置準備中(設置後、説明会の実施予定)。
 - ・熊本市のスポーツクラブの研修会で説明があったが、具体的には進んでいないと理解している。
 - ・宇土市の場合は、平成 28 年度末までに移行することが決まっている。
 - ・はっきりとした方向が、まだ決まっていない。熊本市が部活動の継続を発表したことで、どう動いていいのか分からなくなったのは事実。せめて行政側から現在の状況をクラブ側に説明してほしい。また、そのような説明会はいつも平日の昼間(行政の都合のいい時間帯に)にある。こちらのことも考えて時間は設定してほしい。
 - ・平成 30 年度からというのに、全く情報の提供がない。
 - ・検討委員会の開催。
 - ・県は総合型スポーツクラブなどへの小学校の運動部活動移行を推進されているが、そんなに上手く運営されているクラブがどれくらいあるのだろうか? 総合型クラブに学童クラブを作ればよいという話ではないと思う。
- 6 未回答 5 (中 3、南 2)

3 クラブにおける小学校運動部活動の受け入れについての話し合いの有無 (64 クラブ 未回答 3 クラブ) (複数回答あり)

- 1 いる (40.6%) 26 (北 10、中 4、南 12)
 - ・小学校と保護者が連携し、クラブは主にシステムの管理を行う方向。
 - ・小学校運動部活動の捉え方、社会体育の捉え方、その他で提案事項をまとめている。
 - ・話し合いを行った結果、指導者不足で、受け入れは行えない。
 - ・平成 30 年度末に社会体育へ完全移行する旨を伝えているだけ。
 - ・現在中学校で活動している運動部がそのままプログラムの種目でも活動しているので、小学生についてもクラブの既存のプログラムに自然に移行できる要素は大きい。今後、小学校で放課後に別プログラムで実施するとなると、行政・学校・地域・保護者との入念な検討が必要である。
 - ・具体的な話し合いはまだだが、今年度中に組織を見直し、受け入れ体制を整えたいと模索中。教育委員会が主体となり、村体育協会、スポーツ推進委員等と組織改編する予定。
 - ・受け入れ可能なプログラムについて。
 - ・制度説明及びスケジュール確認程度は話し合われている。

- ・話し合いの段階で、具体的には今からである。
- ・プログラムや指導者について市委員会より聞き取り調査等が行われている。
- ・受け入れ可能なプログラムや指導者についての話し合いを、小学校体育担当者並びに校長、教頭にも話をしている段階である。
- ・話し合いを重ねた結果、受け入れは無理であるという結論に至った。
- ・市町村の合同会議等に出席している。市としての動き(委員会)が設置され、方向性が決まれば協力したいと考えている。
- ・指導者の派遣について。
- ・バスケットボールと野球は、来年度に向けて準備中。バドミントンと剣道については受け入れ可能。
- ・理事会で今後の可能性(プログラムや指導者等)について協議している。
- ・受け入れ可能なプログラムや指導者について話し合いをしたが、現状では放課後からの時間帯における指導者の確保は難しい。
- ・受け入れ可能なプログラムや指導者について。
- ・個人的な話はしているが、全体でのまとまった話し合いはしていない。
- ・指導者の定義が、当クラブと市や県の考え方では違う。レクリエーション活動は指導者とは言わない。競技志向の子どもたちには、技術指導者がいる。両者を各々分けて考えなければ、受け入れられない。
- ・どのような形態で受け入れていくか話し合い中。
- ・クラブだけの問題ではなく町全体の問題として捉えており、クラブ、スポーツ推進委員、体協、学校、PTAを委員とした検討会議で話し合いを行っている。(クラブ主催ではなく、担当は別)クラブの会議等で情報共有を行っており、本町のみならず熊本県が直面している課題として考えるようにしている。
- ・現状の把握と共通認識の確認。
- ・受け入れ可能な種目や指導者について。
- ・市教育部と話し合い中。
- ・本クラブは学童教室をすでに設置し運営を行っている。学校の部活動が無くなると子どもたちの運動する機会は減ってしまうし、アンケートの結果では、現在行われている部活動時間内で指導する人はいない。
- ・話し合いは毎回の運営委員会においてしているが、具体的には何も決定していない。
- ・受け入れは可能だが、開催時間帯が心配。夕方指導できる人がいるか?心配。
- ・地域に提案するクラブが考えるプランを作成した。
- ・現在受け入れられる競技について確認があった。
- ・具体的な内容については、これから。
- ・運営委員会で討論を行っている。
- ・受け入れについて検討中。

2 いない (46.9%) 30 (北5、中12、南13)

3 すでに受け入れている (10.9%) 7 (北2、中2、南3)

- ・平成28年4月1日より、ミニバスケットとサッカーを当クラブ事業として実施することになった。
- ・平成27年から、高森中央小学校サッカー部を社会体育へ移行した。高SPOから指導者を派遣している。ロアッソ熊本元選手3名。
- ・サッカーはすでに移行済。
- ・平成28年度から野球部を総合型へ移行。指導者はクラブ指導者(部活動のときからの指導者がそのまま移行)。
- ・一昨年より部会を作り検討し、昨年度より対策室を設置している。昨年度より1チームを受け入れ、本年度受け入れの4チームを合わせ、現在5チームが稼働中。
- ・平成25年度から野球部、サッカー部を総合型へ移行した。指導者はクラブ指導者のみで行っているが、教職員の方々とも連携して指導内容など相談しながら指導している。
- ・平成28年度から野球部を総合型クラブへ移行し、活動を行っている。指導者については、部活動指導者より継続。(クラブ指導者として委嘱を行った)

◆PARTIII 具体協主催事業

1 県民体育祭への出場者

いる 18クラブ(北6, 中1, 南11) いない(未回答を含む) 49クラブ(北11, 中20, 南18)
・選手 193人(北104, 中10, 南79) ・役員(審判を含む) 31人(北13, 中1, 南17)

2 講師派遣事業の活用

1 できれば活用したい 33(北9, 中7, 南17)

- ・クラブの状態が落ち着けば活用したい。
- ・派遣講師などの名簿があれば、それを参考にスキルアップ等の研修会の開催に活用したい。
- ・本年度は対応が難しい状況である。
- ・専門的な知識を持つ指導者を派遣してもらいたい。指導者の技術力向上のため。
- ・バドミントン、水泳教室は指導者派遣を希望。高齢者向け体操、タグラグビーについては指導者の講習を兼ねて開催希望。
- ・体幹トレーニング及びストレッチの講習会。
- ・指導者の派遣を以前依頼したが、途中から来られなくなった。タグラグビーの指導者をお願いしたい。
- ・今年度はバスケット体験会(小学4年生まで)、ダンス体験会(小学生対象)で、派遣事業を活用する。
- ・クラブ周知にも成りえるし、また、指導者の勉強になり、指導者意識の向上に繋がるので活用したい。
- ・指導者研修会を開催し、指導者のモラルを高めたい。
- ・今後新規の種目設立のため、指導者研修会を開催し、指導者の養成を行いたい。
- ・アスリート招聘事業の一環として、子どもたちの成長の一助としたい。
- ・希望が多いヨガ教室を開催し、会員のニーズに応えたい。また、そのままプログラム化できたらいい。
- ・具体的には話し合いができていないので、事務局の希望的なものである。
- ・さまざまな種目の指導者講習会を開き、指導力の向上をめざす。
- ・今後検討していきたいと考えている。
- ・現在申請中。
- ・指導者研修会を開催し、指導者のモラルを高めたい。

2 現在のところ必要ない 30(北7, 中12, 南11)

- ・今後、指導者の育成や資質の向上などに向け検討したい。

3 未回答 4(北1, 中2, 南1)

◆PARTIV スポーツ少年団

1 スポーツ少年団の事業

1 参加したことがある 3(北0, 中1, 南2)

- ・少年少女バレーボール教室
- ・40年位前全日本少年サッカー大会
- ・日独同時交流受入事業

2 事業内容も知っている 25(北8, 中5, 南12)

3 組織名は知っている 32(北9, 中10, 南13)

4 知らない 4(北0, 中3, 南1)

5 未回答 3(北0, 中2, 南1)

2 リーダー育成の有無

1 行っている 4(北4, 中0, 南0)

2 いない 60(北13, 中19, 南28)

- ・今後大学生ボランティアと連携し実施予定

3 未回答 3(北0, 中2, 南1)

3 スポーツ少年団の取り込み

1 いる 8(北3, 中4, 南1)

2 いない 57(北14, 中16, 南27)

3 未回答 2(北0, 中1, 南1)